

2050年に向けた ミネベアの環境への取り組み

環境管理担当役員より

1951年創業のミネベアは、2051年に100周年を迎えます。その前年の2050年は、世界各国政府をはじめ民間企業あるいは個人家庭などあらゆるレベルの取り組みの結果、人類の共通の目標である地球温暖化防止が成功するか、まだまだ努力が不足し事態が改善できていないかが、はっきりする年となります。

当社は、創業以来その製品の精密さとクリーン度を追求し実現してまいりました。さらに主力製品であるボールベアリングや小型モーターは社会において高効率と信頼性によって省エネルギーおよび省資源に貢献してまいりました。

しかしながら、2050年に向けた企業の環境への取り組みは今まで以上にスピードをあげる必要があります。積極

的に新技術の導入を行なうとともに、それらを自社の製品や生産工程に反映することが要求されます。

当社は、その生産活動のあらゆる局面で、エネルギー効率の高い施設、設備、プロセスを採用しCO₂排出量の削減を図っております。また、材料、水資源などを大切に、工場からの廃棄物・排水が最小限となるよう、引き続き改善を行ってまいります。

同時に、新しい社会のインフラを作るために必要となる高効率モーター、高効率照明、高効率エネルギー変換デバイス、およびそれらのエネルギーマネジメントのキーとなる制御技術やセンサーの開発に積極的に取り組みます。またそれらの実現に必要な新しい磁性材料をはじめ、新素材の開発と応用にも注力します。

さらに、それらの新製品が製造され使用され廃棄に至るすべての過程で、最小の環境負荷となるよう、安全性・信頼性・有害物質非含有に関して徹底した事前評価を行った上でお客様に提供します。

当社は、全ての従業員が明確な意識と責任感を持って環境活動に取り組めるよう組織の構築と啓蒙をおこないます。さらに活動の評価を定期的におこない、継続的改善を図ってまいります。

また、お客様、お取引様、地域社会、国際社会に対してはこれらの情報開示を行い、環境技術面での社会貢献も果たしてまいります。

取締役 専務執行役員
環境管理担当

平尾 明洋

